平成 27年度
少子高齢社会等調査検討事業
報告書

平成 28年3月
第1章 調査概要
1. 調査目的
2. 調査方法
3. 調査内容

第2章 調査結果の概要
1. 回答者の基本的属性
2. 調査結果

資料編
1. 調査票
2. 単純集計表
3. クロス集計表
第1章 調査概要

1. 調査目的
本調査は、高齢社会に対する意識の世代・地域・所得ごと等の傾向を把握するための調査を実施し、当該意識調査で得られた結果について、クロス分析や既存の調査結果と比較すること等により、高齢社会を克服するための論点や方向性を浮き彫りにし、厚生労働白書及び今後の制度検討の基礎資料として活用することを目的として実施した。

2. 調査方法
(1) 調査対象
本調査では、株式会社GMOリサーチに登録しているウェブモニターから、60歳以上の
人を選択し、平成22年国勢調査の地域・性別・年齢の人口構成比に応じたサンプルを確保
することとし、調査を実施した。
居住地は、表のように全国を8ブロックの地域区分に分けた。サンプル割付に対
して想定回答数が得られるまで回答を受け付けた（表及び表）。その結果、サ
ンプル割付と回収数は一致している。

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>都道府県</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>北海道</td>
<td>北海道</td>
</tr>
<tr>
<td>東北</td>
<td>青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県</td>
</tr>
<tr>
<td>関東</td>
<td>茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県</td>
</tr>
<tr>
<td>中部</td>
<td>新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県</td>
</tr>
<tr>
<td>関西</td>
<td>滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県</td>
</tr>
<tr>
<td>中国</td>
<td>鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県</td>
</tr>
<tr>
<td>四国</td>
<td>徳島県 香川県 愛媛県 高知県</td>
</tr>
<tr>
<td>九州・沖縄</td>
<td>福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>男性</th>
<th>単位：人</th>
<th>女性</th>
<th>単位：人</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>40代</td>
<td>14</td>
<td>15</td>
<td>16</td>
</tr>
<tr>
<td>50代</td>
<td>23</td>
<td>28</td>
<td>26</td>
</tr>
<tr>
<td>60代</td>
<td>130</td>
<td>110</td>
<td>121</td>
</tr>
<tr>
<td>70代以上</td>
<td>59</td>
<td>57</td>
<td>63</td>
</tr>
<tr>
<td>80代以上</td>
<td>61</td>
<td>56</td>
<td>68</td>
</tr>
<tr>
<td>九州・沖縄</td>
<td>18</td>
<td>20</td>
<td>23</td>
</tr>
<tr>
<td>四国</td>
<td>10</td>
<td>11</td>
<td>12</td>
</tr>
<tr>
<td>九州・沖縄</td>
<td>34</td>
<td>41</td>
<td>39</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>349</td>
<td>338</td>
<td>368</td>
</tr>
</tbody>
</table>
（２）調査期間
平成28年2月24日（水）〜2月29日（月）

（３）回収数
3,000件

（４）集計上の留意点
本報告書に示す集計数値について、合計数値と内訳数値が、四捨五入の関係で合致しない場合がある。

３．調査内容
アンケートの調査項目は、表の通りである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>表　調査内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>調査項目</td>
</tr>
<tr>
<td>☐回答者の属性</td>
</tr>
<tr>
<td>☐世帯構成</td>
</tr>
<tr>
<td>☐高齢期の就労に関する認識</td>
</tr>
<tr>
<td>☐就労にあたり重視すること</td>
</tr>
<tr>
<td>☐就労するために企業に望むこと</td>
</tr>
<tr>
<td>☐高齢期の健康づくりについて</td>
</tr>
<tr>
<td>☐健康寿命を延ばすために重要なもの</td>
</tr>
<tr>
<td>☐高齢期の過ごし方について</td>
</tr>
<tr>
<td>☐希望する場所で暮らすために必要なこと</td>
</tr>
<tr>
<td>☐高齢期の一人暮らしについて</td>
</tr>
<tr>
<td>☐一人暮らしが不安な理由</td>
</tr>
<tr>
<td>☐一人暮らし時に受けたいサービス</td>
</tr>
<tr>
<td>☐現居住地への居住意向</td>
</tr>
<tr>
<td>☐住みたい理由</td>
</tr>
<tr>
<td>☐地域で安心して暮らすために期待する行政の取組み</td>
</tr>
<tr>
<td>☐地域の支え合い</td>
</tr>
<tr>
<td>☐助け合いへの意識</td>
</tr>
<tr>
<td>☐実施したい支え合い活動</td>
</tr>
<tr>
<td>☐ダブルケアについて</td>
</tr>
<tr>
<td>☐ダブルケアへ必要となる支援</td>
</tr>
</tbody>
</table>
第2章 調査結果の概要

1．回答者の基本的属性
回答者の属性については、以下の通りである。

(1) 性別

(2) 年齢

(3) 居住地
  □ 地域ブロック別
（4）就業

図 2-1-4 就業状況 (N=3,000)

現在働いている
現在働いていないが、できれば再び働きたい
現在働いておらず、今後も働く気はない

図 2-1-5 就業状況 (N=3,000)

図 2-1-6 職業 (N=1,320)

自営業主（農林水産業）
自営業主（農林水産業以外）
家族従業員
会社役員、団体役員
会社員（正社員）団体職員
公務員（正規雇用）
嘱託社員、契約社員
派遣社員
パート、アルバイト
その他

地域ブロック別

図 2-1-4 居住地（都市規模）(N=3,000)

政令指定都市及び東京都区部
人口30万人以上の市
人口10万人以上〜30万人未満の市
人口10万人未満の市・町村
（5）最終学歴
図 2-1-7 最終学歴（N=3,000）

・小学校・中学校
・高校・旧制中
・短大・高専・専門学校
・大学
・大学院

（6）世帯構成
図 2-1-8 世帯構成（N=3,000）

・一人暮らし
・夫婦のみ
・夫婦と子ども
・夫婦と親
・三世代同居
・その他

（7）世帯年収
図 2-1-9 世帯年収（N=3,000）

・0〜200万円未満
・200〜400万円未満
・400〜600万円未満
・600〜800万円未満
・800〜1,000万円未満
・1,000万円以上
2. 調査結果
項目横に設問に対する回答方法を表示している。

（１）高齢期の就労について
① 就労希望年齢（Q1）（回答は1つ）
現在働いている人または現在働いていないが就労を希望している人に対し、何歳まで働きたいかについて尋ねたところ、 「働けるうちないつまでも（31.2%）」が最も多く、「65歳くらいまで（25.7%）」「60歳くらいまで（18.5%）」と続いている。

② 高齢期の就業希望理由（Q2）（回答は2つまで）
就業希望理由についてみると、「経済上の理由（68.1%）」が最も多く、「生きがい、社会参加のため（38.7%）」「健康上の理由（23.2%）」と続いている。

③ 高齢期の就業希望理由（Q3）（回答は2つまで）
就業希望理由についてみると、「経済上の理由（自分と家族の生活を維持するため、生活水準を上げるためなど）」が最も多く、「生きがい、社会参加のため」「健康上の理由（健康に良いからなど）」と続いている。
年齢別にみると、年齢が低くなるほど「経済上の理由」をあげる割合が高く、年齢が高くなるほど「生きがい、社会参加のため」「健康上の理由」をあげる割合が高い。

図 2-2-3 高齢期の就業希望理由（年齢別）（単位：%）
世帯年収別にみると、年収が低くなるほど「経済上の理由」をあげる割合が高く、年収が高くなるほど「生きがい、社会参加のため」「時間に余裕があるから」をあげる割合が高い。

図 2-2-4 高齢期の就業希望理由（世帯年収）（単位：%）
就労にあたり重視すること（□□）（回答は3つまで）

就労にあたり重視することについては、「体力的に無理なく続けられる仕事であること（66.8％）」が最も多く、「自分のベースで進められる仕事であること（48.3％）」「勤務日や勤務時間を選べること（34.0％）」と続いている。現役世代よりも無理のない働き方を望んでいることがうかがえる。

図 ②③ 就労にあたり重視すること（□□□□□□□□）（単位：%）

年齢別にみると、年齢が低いほど「体力的に無理なく続けられる仕事であること」「自分のベースで進められる仕事であること」「勤務日や勤務時間を選べること」をあげる割合が高く、年齢が高いほど「自分の能力を発揮できること」「経験したことのある職種であること」をあげる割合が高い。

図 ②③④ 就労にあたり重視すること（主要項目：年齢別）（単位：%）
就労するために自身が取り組むこと（回答は3つまで）
高齢期に就労するため取り組もうと思うことについては、「健康・体力づくり（51.4%）」「いつまでも現役で活躍するための意欲の維持（36.1%）」の順であった。

図 就労するために自身が取り組むこと（単位：%）

年齢別にみると、年齢が低いほど「現在の業種や職種に関する専門的な知識・技能の習得」「現在の業種と異なる業種でも就労できるよう、異なる分野の知識・技術の習得」をあげる割合が高く、年齢が高いほど「健康・体力づくり」「いつまでも現役で活躍するための意欲の維持」をあげる割合が高い。

図 就労するために自身が取り組むこと（年齢別）（単位：%）
就労するために企業に望むこと（□□）{回答は1つ}

高齢期に就労するために企業に望むことについては、「健康や体力に配慮した配置、社内での健康づくりの取組などの健康管理（35.2%）」「経験・知識・能力の適切な評価（26.4%）」の順であった。

図 2-2-9 就労するために企業に望むこと（N=3,000）

年齢別にみると、年齢が低いほど「健康や体力に配慮した配置、社内での健康づくりの取組などの健康管理」をあげる割合が高い。また、「特にない」は年齢が高いほど高い割合である。
就労促進について国が取り組むべき施策（回答は3つまで）

高齢者の就労促進について、国が取り組むべき施策については、「企業が65歳以上の人を雇用するインセンティブ作り（39.1%）」「希望者全員が65歳まで働く仕組みの徹底（36.3%）」の順であった。

図2-2-11 就労促進について国が取り組むべき施策（N=3,000）（単位：%）

年齢別にみると、年齢が低いほど「希望者全員が65歳まで働く仕組みの徹底」をあげる割合が高い。

図2-2-12 就労促進について国が取り組むべき施策（年齢別）（単位：%）

□ 40〜49歳 □ 50〜59歳 □ 60〜69歳 □ 70〜79歳 □ 80歳以上
(2) 高齢期の健康づくりについて

高齢者としての年齢定義（回答は1つ）

何歳から高齢者になると思うかと尋ねたところ、「70歳以上（41.1%）」が最も多く、「65歳以上（20.2%）」「75歳以上（16.0%）」と続いていた。

図 2-2-13 高齢者としての年齢定義 (N=3,000) (単位：%)

年齢別にみると、年齢が高いほど定義する年齢が高い傾向にある。

図 2-2-14 高齢者としての年齢定義（年齢別）
健康寿命を延ばすために重要なこと（回答は3つまで）

健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）を延ばすために重要なことについては、「適度に運動をすること（61.9%）」「休養や睡眠を十分にとること（58.3%）」「バランスのよい食事や家族・仲間と食事を取るなどの孤食を防ぐこと（51.8%）」が上位であった。

図 2-2-15 健康寿命を延ばすために重要なこと（N=3,000）（単位：%）
男女別にみると、「休養や睡眠を十分にとること」は男性に多く、「バランスのよい食事や家族・仲間と食事を取るなどの孤食を防ぐこと」「家族や友人との交流」「身の回りのことを自分ですること」は女性に多い。

図 2-2-16 健康寿命を延ばすために重要なこと（男女別） (単位：% )
③健康づくり・介護予防についての施策（回答は3つまで）

高齢者の健康づくり・介護予防を促すための施策については、「身近な場所で運動ができる施設の整備（47.0%）」「健康診断等の受診勧奨と受診後の健康指導（41.2%）」「効果的な広報（31.1%）」の順であった。

<table>
<thead>
<tr>
<th>施策</th>
<th>発言者数（%）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>健康的な広報（健康に関する正しい知識の普及、健康づくりの取組みの周知等）</td>
<td>31.1</td>
</tr>
<tr>
<td>健康手帳の配布などの自己管理の仕組みづくり</td>
<td>18.4</td>
</tr>
<tr>
<td>身近な場所で運動ができる施設の整備</td>
<td>47.0</td>
</tr>
<tr>
<td>健康診断等の受診勧奨と受診後の健康指導</td>
<td>41.2</td>
</tr>
<tr>
<td>健康活動に対するポイント制などのインセンティブ作り</td>
<td>13.0</td>
</tr>
<tr>
<td>健康相談窓口の設置</td>
<td>12.8</td>
</tr>
<tr>
<td>高齢者が一緒に食事を取る場所づくり（孤食防止）</td>
<td>14.5</td>
</tr>
<tr>
<td>ボランティアなどの社会活動に参加しやすい仕組みづくり</td>
<td>19.6</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>特にならない</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
男女別にみると、「健康診断等の受診勧奨と受診後の健康指導」は男性に多く、「身近な場所で運動ができる施設の整備」「効果的な広報」は女性に多い。

図 2-2-18 健康づくり・介護予防についての施策（男女別）（N=3,000）（単位：%）

- 効果的な広報（健康に関する正しい知識の普及、健康づくりの取組みの周知等）
- 健康診断等の受診勧奨と受診後の健康指導
- 身近な場所で運動ができる施設の整備
- 健康相談窓口の設置
- 高齢者等が一緒に食事を取る場所の整備（食事の環境改善）
- ボランティア等の社会活動に参加しやすい仕組みの設置
- その他
- 特になし

☑男性 ☐女性
年齢別にみると、年齢が高いほど「身近な場所で運動ができる施設の整備」 「効果的な広報」 「ボランティアなどの社会活動に参加しやすい仕組みづくり」をあげる割合が高い。
（3）高齢期の過ごし方について
老後の不安（回答は3つまで）
老後の不安については、「健康上の問題（73.6%）」「経済上の問題（60.9%）」が上位の項目であった。

<p>| | | | | | | | | | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>健康上の問題</td>
<td>経済上の問題</td>
<td>住まい・生活上の問題</td>
<td>家族や地域とのつながりの問題</td>
<td>生きがいの問題</td>
<td>大きな不安はない</td>
<td>その他</td>
<td>わからない</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

年齢別にみると、年齢が低いほど「経済上の問題」「住まい・生活上の問題」をあげる割合が高く、年齢が高いほど「生きがいの問題」をあげる割合が高い。

<p>| | | | | | | | | | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>健康上の問題</td>
<td>経済上の問題</td>
<td>住まい・生活上の問題</td>
<td>家族や地域とのつながりの問題</td>
<td>生きがいの問題</td>
<td>大きな不安はない</td>
<td>その他</td>
<td>わからない</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

□ 40〜49歳 □ 50〜59歳 □ 60〜69歳 □ 70〜79歳 □ 80歳以上
高齢期に生活したい場所（回答1つ）

年を取って生活したいと思う場所については、「自宅（72.2％）」がほとんどを占めていた。

図 2-2-22 高齢期に生活したい場所 (N=3,000)

[図表]

■自宅（これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む）
■新しい状況に合わせて移り住んだ、高齢者のための住宅（バリアフリー対応住宅や、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど）
■グループホームのような高齢者などが共同生活を営む住居
■特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設
■病院などの医療機関
■その他
■わからない
希望する場所で暮らすために必要なこと（回答は3つまで）

高齢期に希望する場所で暮らすために必要なことについては、「医療機関が身近にあること（54.3%）」「介護保険のサービスが利用できること（38.2%）」という医療・介護関連が上位であり、次いで「買い物をする店が近くにあること（34.0%）」「交通の便がよいこと（30.1%）」と生活利便性に関することが続いている。

図 希望する場所で暮らすために必要なこと（N=3,000）（単位：%）

- 家族による手助けがあること
- 介護保険のサービスが利用できること
- 介護保険以外のサービス・支援が利用できること
- 医療機関が身近にあること
- 公園・緑地などの憩いの場があること
- 地域の人が気軽に集える施設があること
- 交通の便がよいこと
- 災害や犯罪などに対する地域での取組みがあること
- 近所での助け合いや協力があること
- 買い物をする店が近くにあること
- その他
- 特にない
男女別にみると、「医療機関が身近にあること」「介護保険のサービスが利用できること」「買い物をする店が近くにあること」「交通の便がよいこと」と上位の項目については、女性の方があげる割合が高い。

図 2-2-24 希望する場所で暮らすために必要なこと（男女別）（単位：％）
年齢別にみると、年齢が高いほど「医療機関が身近にあること」「買い物をする店が近くにあること」「家族による手助けがあること」の項目をあげる割合が高い。

図 2-2-26 希望する場所で暮らすために必要なこと（年齢別）（単位：%）

家族による手助けがあること
介護保険のサービスが利用できること
介護保険以外のサービス・支援が利用できること
医療機関が身近にあること
公園・緑地などの憩いの場があること
地域の人が気軽に集まる施設があること
交通の便がよいこと
災害や犯罪などに対する地域での取組みがあること
近所での助け合いや協力があること
買い物をする店が近くにあること
その他
特にない

□ 40〜49歳 □ 50〜59歳 □ 60〜69歳 □ 70〜79歳 □ 80歳以上
自身が望む介護の姿（回答は1つ）

自身が望む介護の姿については、「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい（37.4%）」が最も多く、自宅で過ごしたいが家族に依存しないという希望が表れている。

図 2-2-27 自身が望む介護の姿（N=3,000）

男女別にみると、男性は女性と比べて「自宅で家族中心に介護を受けたい」をあげる割合が高く、女性は男性と比べて「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」をあげる割合が高い。

図 2-2-28 自身が望む介護の姿（男女別）
(4) 高齢期の一人暮らしについて

① 一人暮らしへの不安（Q14）（回答は1つ）
高齢期の一人暮らしへの不安度合いについては、「大いに不安（39.9%）」「やや不安（41.8%）」と8割以上の方が不安を感じている。

図 2-2-29 高齢期の一人暮らしへの不安 (N=3,000)

年齢別にみると、年齢が低いほど「大いに不安」の割合が高い。

図 2-2-30 高齢期の一人暮らしへの不安 (年齢別)
一人暮らし不安な理由（回答は3つまで）
「大いに不安」・「やや不安」と回答した方に、理由を尋ねたところ、「病気になったときのこと（79.7%）」、「寝たきりや身体が不自由になり、介護が必要になったときのこと（79.1%）」が特に多く、「買い物など日常生活のこと（43.5%）」が続いていた。

図 2-2-31 一人暮らし不安な理由（回答は3つまで）（単位：%）
年齢別にみると、年齢が低い方が「病気になったときのこと」をあげる割合が高く、年齢が高いほど「買い物など日常生活のこと」「日常会話をする相手がいないこと」をあげる割合が高い。
一人暮らし時に頼りたい相手（回答は2つまで）
日常生活で困った時に頼りたい相手については、「子ども・孫（51.0%）」で半数以上と他よりも多かった。続いて「民間のサービス（24.1%）、地域のボランティア等のサービス（18.2%）」であり、まずは子どもや孫に、それ以外であれば各種のサービスに頼りたいという傾向がうかがえる。

図 2-2-33 一人暮らし時に頼りたい相手（単位：%）

男女別にみると女性は「子ども・孫」「民間のサービス」をあげる割合が男性よりも高い。男性は、「いない」をあげる割合が女性よりも高い。

図 2-2-34 一人暮らし時に頼りたい相手（男女別）（単位：%）
年齢別にみると年齢が高いほど「子ども・孫」「地域のボランティア等のサービス」をあげる割合が高く、年齢が低いほど「きょうだい・親戚」「特にない」をあげる割合が高い。

図 2-2-35 一人暮らし時に頼りたい相手（年齢別）（単位：%）
一人暮らし時に受けたいサービス (Q17) (回答はいくつでも)

一人暮らしをする場合に、受けたいサービスについては、「通院、買い物等の外出の手伝い (51.1%)」「洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援 (37.5%)」といった生活支援、「急病などの緊急時の手助け (37.8%)」という生活支援、「急病などの緊急時の手助け (37.8%)」が上位であった。

図 2-2-36 一人暮らし時に受けたいサービス (N=3,000) (単位：%)

<table>
<thead>
<tr>
<th>サービス内容</th>
<th>百分比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>通院、買い物等の外出の手伝い</td>
<td>51.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援</td>
<td>37.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>配食サービスの支援</td>
<td>27.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事</td>
<td>19.2%</td>
</tr>
<tr>
<td>健康管理の支援</td>
<td>15.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>見守り・安否確認</td>
<td>11.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>悩み事の相談</td>
<td>8.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>日常会話の相手</td>
<td>4.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>急病などの緊急時の手助け</td>
<td>37.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>気軽に行ける自由な居場所づくり</td>
<td>22.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>6.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>特にない</td>
<td>0.1%</td>
</tr>
</tbody>
</table>
男女別にみると、男性は「洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援」「配食サービスの支援」「健康管理の支援」をあげる割合が女性よりも高く、女性は「通院、買い物等の外出の手伝い」「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」「急病などの緊急時の手助け」をあげる割合が男性よりも高い。

図 2-2-37 一人暮らし時に受けたいサービス（男女別）（単位：%）
年齢別にみると、全般的に年齢が高いほど受けたいとする割合が高く、特に「配食サービスの支援」「急病などの緊急時の手助け」をあげる割合が高い。

図 図表 一人暮らし時に受けたいサービス（年齢別）（単位：%）
一人暮らし時の住居の立地条件（回答は3つまで）
老後に一人暮らしをする場合、住みたい住居の立地条件としては、「病院・診療所の近くであること（43.2%）」「買い物がしやすいこと（40.7%）」「子ども・孫の家の近くであること（37.9%）」が上位であった。さきの『高齢期に希望する場所で暮らすために必要なこと』『一人暮らし時に受けたいサービス』における回答傾向と似通った傾向にある。

図 2-2-39 一人暮らし時の住居の立地条件（回答は3つまで） (単位：%)

<table>
<thead>
<tr>
<th>条件</th>
<th>回答数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>子ども・孫の家の近くであること</td>
<td>43.2%</td>
</tr>
<tr>
<td>親戚の家の近くであること</td>
<td>25.2%</td>
</tr>
<tr>
<td>友人、知人の家の近くであること</td>
<td>23.3%</td>
</tr>
<tr>
<td>現在の住居の近く又は現在の住居地であること</td>
<td>12.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>地域の助け合いや協力があること</td>
<td>8.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>病院・診療所の近くであること</td>
<td>6.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>在宅医療・在宅介護の充実している地域であること</td>
<td>7.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>買い物がしやすいこと</td>
<td>6.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>公共交通機関が整備されており交通の便がよいこと</td>
<td>7.3%</td>
</tr>
<tr>
<td>仕事に就きやすいこと</td>
<td>2.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>趣味や生涯学習などの環境が整っていること</td>
<td>0.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>自然環境が良いこと</td>
<td>7.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>0.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>特にならない</td>
<td>0.0%</td>
</tr>
</tbody>
</table>
男女別にみると、女性は「病院・診療所の近くであること」「買い物がしやすいこと」「子ども・孫の家の近くであること」「公共交通機関が整備されており交通の便がよいこと」についてあげている割合が男性よりも高い。

図 2-2-40 一人暮らし時の住居の立地条件（男女別）（単位：%）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>子ども・孫の家の近くであること</td>
<td>34.9</td>
<td>7.4</td>
</tr>
<tr>
<td>親戚の家の近くであること</td>
<td>7.0</td>
<td>24.3</td>
</tr>
<tr>
<td>友人・知人の家の近くであること</td>
<td>24.3</td>
<td>12.3</td>
</tr>
<tr>
<td>現在の住居の近く又は現在の住居地であること</td>
<td>40.5</td>
<td>24.0</td>
</tr>
<tr>
<td>地域の助け合いや協力があること</td>
<td>36.2</td>
<td>36.2</td>
</tr>
<tr>
<td>病院・診療所の近くであること</td>
<td>18.2</td>
<td>18.2</td>
</tr>
<tr>
<td>在宅医療・在宅介護の充実している地域であること</td>
<td>2.8</td>
<td>6.8</td>
</tr>
<tr>
<td>買い物がしやすいこと</td>
<td>6.8</td>
<td>8.1</td>
</tr>
<tr>
<td>公共交通機関が整備されており交通の便がよいこと</td>
<td>10.1</td>
<td>10.6</td>
</tr>
<tr>
<td>仕事に就きやすいこと</td>
<td>4.7</td>
<td>22.4</td>
</tr>
<tr>
<td>趣味や生涯学習などの環境が整っていること</td>
<td>0.1</td>
<td>11.8</td>
</tr>
<tr>
<td>自然環境が良いこと</td>
<td>45.7</td>
<td>44.7</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>26.2</td>
<td>25.9</td>
</tr>
<tr>
<td>特になし</td>
<td>2.8</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>特になし</td>
<td>2.8</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>特になし</td>
<td>2.8</td>
<td>2.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

□男性 □女性
年齢別にみると、年齢が高いほど「病院・診療所の近くであること」「子ども・孫の家の近くであること」「在宅医療・在宅介護の充実している地域であること」「買い物がしやすいこと」についてあげている割合が高い。

図 2-2-41 一人暮らし時の住居の立地条件（年齢別）（単位：％）
（5）現居住地への居住意向

① 居住意向（回答１つ）
現居住地における高齢期における居住意向は、「思う（37.0%）」「どちらかというと思う（35.2%）」であり、肯定的な回答が約7割強であった。

図 2-2-42 現居住地への高齢期における居住意向（N=3,000）

年齢別にみると、年齢が高いほど「思う」とする割合が高い。

図 2-2-43 現居住地への高齢期における居住意向（年齢別）
都市区分別にみると、都市規模が大きいほど「思う」の割合が高い。

図 2-2-44 現居住地への高齢期における居住意向（都市規模別）

世帯状況別にみると、三世代同居において「思う」の割合が高い。

図 2-2-45 現居住地への高齢期における居住意向（世帯状況別）
住みたい理由（回答は3つまで）

居住意向について「思う」「どちらかというと思う」と回答した方に、理由を尋ねたところ、「住み慣れているから（89.8%）」がほとんどであり、居住の継続性を重視していることがうかがえる。続いて、「交通の便がよく買い物などをしやすいから（37.3%）」「家族、友人など頼れる人が近くにいるから（31.9%）」であった。

図 2-2-46 現居住地に住みたい理由（回答：%）
年齢別にみると、年齢が高いほど「家族、友人など頼れる人が近くにいるから」「医療・介護が充実しているから」「自然に恵まれているから」をあげる割合が高い。

図 現居住地に住みたい理由（年齢別）（単位：%）
都市区別にみると、都市規模が大きいほど「医療・介護が充実しているから」「交通の便がよく買い物などをしやすいから」をあげる割合が高く、小さいほど「自然に恵まれているから」をあげる割合が高い。

図 2-2-48 現居住地に住みたい理由（都市区別）（単位：%）

住み慣れているから
家族、友人など頼れる人が近くにいるから
医療・介護が充実しているから
交通の便がよく買い物などをしやすいから
自然に恵まれているから
地域での交流がさかんだから
高齢者が働ける場所が多いから
その他

□政令指定都市及び東京都区部
□人口30万人以上の市
□人口10万人以上30万人未満の市
□人口10万人未満の市
□町村
住みたいと思わない理由（回答は3つまで）

居住意向について「どちらかというと思わない」「思わない」と回答した方に、理由を尋ねたところ、「交通の便が悪く買い物などが不便だから（43.7%）」「家族、友人など頼れる人が近くにいないから（30.4%）」が上位であり、住み慣れているということ以外は、住みたいと思う理由を逆にしたものになっている。

図 2-2-49 現居住地に住みたいと思わない理由（N=451）（単位：%）

住み慣れていないから
家族、友人など頼れる人が近くにいないから
医療、介護サービスに不安があるから
交通の便が悪く買い物などが不便だから
自然に恵まれていないから
地域での交流が乏しいから
高齢者が働ける場所が少ないから
その他
都市区別にみると、都市規模が小さいほど「医療・介護サービスに不安があるから」「交通の便が悪く買い物などが不便だから」とあげる割合が高く、大きいほど「自然に恵まれていないから」「地域での交流が乏しいから」をあげている割合が高く、住みたいと思う理由を逆にしたものになっている。

図 2-2-50 現居住地に住みたいと思わない理由（都市区別）（単位：%）
高齢者が地域で安心して暮らすために期待する行政の取組み

図 2-2-51 高齢者が地域で安心して暮らすために期待する行政の取組み
(N=3,000) 単位：%
年齢別にみると、年齢が高いほど「介護等の福祉サービスの充実」「医療体制の充実」「買い物やごみ出しなどの生活支援」「災害等に対する体制の充実」をあげる割合が高い。

図 2-2-52 高齢者が地域で安心して暮らすために期待する行政の取り組み（年齢別）（単位：%）
（6）地域の支え合い

地域の支え合いについての意識（回答は1つ）

居住地における地域の支え合いが展開されていると思うかを尋ねたところ、「思う」「どちらかというと思う」と合わせて27.1%であるのに対して、「どちらかというと思わない」「思わない」を合わせると46.7%であり、支え合いが展開されていないと思う割合が高い。

図2-2-53 居住地における地域の支え合いについての意識（N=3,000）

年齢別にみると、年齢が高いほど「思う」「どちらかというと思う」という割合が高い。

図2-2-54 居住地における地域支え合いの状況（年齢別）
都市規模別にみると、都市規模が小さいほど「思う」「どちらかというと思う」という割合が高い傾向にある。

図 2-2-55 居住地における地域支え合いの状況（都市規模別）

<table>
<thead>
<tr>
<th>都市規模</th>
<th>思う</th>
<th>どちらかというと思う</th>
<th>どちらかというと思わない</th>
<th>思わない</th>
<th>わからない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>政令指定都市及び東京都部</td>
<td>19.4</td>
<td>28.1</td>
<td>18.1</td>
<td>30.8</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>人口30万人以上の市</td>
<td>24.2</td>
<td>34.3</td>
<td>14.4</td>
<td>24.2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>人口10万人以上30万人未満の市</td>
<td>25.6</td>
<td>27.2</td>
<td>18.1</td>
<td>25.2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>人口10万人未満の市</td>
<td>26.3</td>
<td>27.8</td>
<td>20.0</td>
<td>23.3</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>町村</td>
<td>33.3</td>
<td>29.6</td>
<td>15.4</td>
<td>17.9</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
助け合いへの意識（回答は1つ）
地域で困っている人がいたら助けようと思うかを尋ねたところ、「積極的に助けようと思う」「助けようと思う」を合わせると69.6％であり、地域の支え合いの展開状況以上に、より多くの人が困っている人を助けたいと思っていることがうかがえる。

図 現在の地域における助け合いの意識（回答は1つ）

年齢別にみると、年齢が高いほど「積極的に助けようと思う」「助けようと思う」という割合が高い。

図 現在の地域における助け合いの意識（年齢別）
助け合いに参加したくない理由（③）（回答は2つまで）
さきの問で「あまり助けようと思わない」「助けようと思わない」と回答した方について、その理由を尋ねたところ、「ふだん付き合う機会がないから（54.1%）」「あまりかかわりをもちたくないから（32.4%）」が上位であり、地域とのかかわりが薄いことが原因であると考えられる。

実施したい支え合い活動（④）（回答は3つまで）
地域での支え合い活動として実施したいものについては、「見守り・安否確認（37.2%）」「通院、買い物等の外出の手伝い（35.3%）」「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事（28.7%）」が上位であり、手軽にできることについて取り組みたいという意向が表れている。
年齢別にみると、年齢が高いほど全般に実施したいとする割合が高いが、特に「見守り・安否確認」「通院、買い物等の外出の手伝い」「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」「日常会話の相手」「急病など緊急時の手助け」については、その傾向が強い。

図 2-2-59 実施したい支え合い活動（年齢別）（単位：％）
地域の支え合い機能を向上させるために有効な施策については、「要援護者の支援マップづくり（40.4%）」「住民ボランティアのコーディネーターの養成（40.0%）」「多世代が交流できる拠点の整備など支え合いを行う場の提供（31.7%）」の順であった。

年齢別にみると、年齢が高いほど「要援護者の支援マップづくり」「住民ボランティアのコーディネーターの養成」「多世代が交流できる拠点の整備など支え合いを行う場の提供」をあげる割合が高い。
（7）ダブルケアについて
①ダブルケアへの問題意識（Q28）（回答は1つ）
「ダブルケア（晚婚化と出産年齢の高齢化により、育児と介護に同時に携わる際の負担等の問題）」について身近な問題と思うかを尋ねたところ、「思う（15.1%）」「どちらかと思う（30.3%）」と半数弱の人が、身近な問題であると思っている。なお、「わからない」が20.6%あることから、身近なこととして考えたことのない人も一定割合いることがわかる。

図　ダブルケアへの問題意識（N=3,000）

年齢別にみると、年齢が高いほど「思う」「どちらかと思う」とする割合が高い傾向にあるが、40代については子育てしている人が多い世代でもあることから、50代や60代を上回っている。

図　ダブルケアへの問題意識（年齢別）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>思う</th>
<th>どちらかと思う</th>
<th>どちらかと思わない</th>
<th>思わない</th>
<th>わからない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>40-49歳</td>
<td>16.8</td>
<td>28.9</td>
<td>15.8</td>
<td>12.9</td>
<td>25.5</td>
</tr>
<tr>
<td>50-59歳</td>
<td>13.3</td>
<td>29.1</td>
<td>15.8</td>
<td>17.2</td>
<td>24.6</td>
</tr>
<tr>
<td>60-69歳</td>
<td>14.0</td>
<td>26.6</td>
<td>20.7</td>
<td>20.5</td>
<td>18.2</td>
</tr>
<tr>
<td>70-79歳</td>
<td>15.3</td>
<td>35.1</td>
<td>18.0</td>
<td>15.8</td>
<td>15.8</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>22.2</td>
<td>39.5</td>
<td>16.0</td>
<td>8.6</td>
<td>13.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

年齢別にみると、年齢が高いほど「思う」「どちらかと思う」とする割合が高い傾向にあるが、40代については子育てしている人が多い世代でもあることから、50代や60代を上回っている。
ダブルケアへ必要となる支援（回答は2つまで）

ダブルケアをしている人へどのような支援が必要かを尋ねたところ、「介護も育児も合わせて相談できる行政窓口（43.3%）、介護も育児も合わせて支援サービスが提供される場所を地域でつくる（33.6%）」の順であり、当事者への育児と介護の一体的な支援を求めていく傾向がうかがえる。

図 2-2-64 ダブルケアへ必要となる支援（N=3,000）（単位：%）

男女別にみると、女性は「介護も育児も合わせて相談できる行政窓口」、「介護も育児も合わせて支援サービスができる場所を地域でつくる」をあげる割合が男性よりも高く、男性は「ダブルケア経験者に地域で直接相談したり、アドバイスしてもらったり出来る仕組みづくり」、「特にない」をあげる割合が女性よりも高い。

図 2-2-65 ダブルケアへ必要となる支援（男女別）（単位：%）
年齢別にみると、年齢が高いほど「介護も育児も合わせて相談できる行政窓口」「介護も育児も合わせて支援サービスができる場所を地域でつくる」をあげる割合が高い。
資料編

１．調査票

高齢化に関する意識調査（16年2月）調査票

☑☑☑あなたのご性別をお答えください。【ひとつだけ】

☑男性
☑女性

☑☑☑あなたの年齢をお答えください。

☑歳

☑☑☑現在あなたのお住まいの都道府県をお答えください。【ひとつだけ】

☑ 北海道 17 石川県 33 島山県
☑ 青森県 18 福井県 34 岡山県
☑ 岩手県 19 福岡県 35 広島県
☑ 宮城県 20 山口県 36 宮崎県
☑ 秋田県 21 香川県 37 愛媛県
☑ 山形県 22 愛知県 38 高知県
☑ 福島県 23 三重県 39 和歌山県
☑ 茨城県 24 滋賀県 40 福岡県
☑ 栃木県 25 京都府 41 佐賀県
☑ 群馬県 26  Osaka府 42 大分県
☑ 埼玉県 27 兵庫県 43 熊本県
☑ 千葉県 28 兵庫県 44 大分県
☑ 東京都 29 青森県 45 宮崎県
☑ 神奈川県 30 和歌山県 46 鹿児島県
☑ 新潟県 31 長崎県 47 沖縄県
☑ 富山県

☑☑☑現在あなたがお住まいの地域の郵便番号をご記入ください。※ハイフンなしの７ケタでご記入ください。

☑郵便番号

☑☑☑現在働いていますか。【ひとつだけ】

☑現在働いている
☑現在働いていないが、できれば再び働きたい
☑現在働いておらず、今後も働かない

☑☑☑☑☑で「現在働いている」と回答した方のみお答えください。あなたの職業についてあてはまるものをお選びください。【ひとつだけ】

☑自営業主（農林水産業）
☑自営業主（農林水産業以外）
☑家族従業員
☑会社役員、団体役員
☑会社員（正社員）、団体職員
☑公務員（正規雇用）
☑嘱託社員、契約社員
☑派遣社員
☑パート、アルバイト
☑その他
Q1. SC5で「現在働いている」または「現在働いていないが、できれば再び働きたい」と回答した方のみお答えください。
何歳まで働きたいと思いますか。[ひとつだけ]

- 60歳くらいまで
- 65歳くらいまで
- 70歳くらいまで
- 75歳くらいまで
- 76歳以上
- 働けるうちはいつまでも

Q2. その理由として当てはまるものは次のうちどれですか。[2つまで]

- 経済上の理由（自分と家族の生活を維持するため、生活水準を上げるためなど）
- 健康上の理由（健康に良いからなど）
- 生きがい、社会参加のため
- 時間に余裕があるから
- その他

ここからは、高齢期の過ごし方に関するご意見をおうかがいします。
現役世代の方はご自身が高齢期を迎えたときを想像して、
高齢期の方は現在のご希望・お考えをご回答ください。

Q3. 高齢期に仕事を選ぶに当たり重視することは何ですか。[3つまで]

- 体力的に無理なく続けられる仕事であること
- 自分のペースで進められる仕事であること
- 自分の能力を発揮できること
- 勤務日や勤務時間を選べること
- 経験したことがある職種であること
- 気心の知れた仲間がいる職場であること
- 以前と異なる勤務であること
- 経験したことのある業界であること
- 勤務先の事業目的・経営ビジョン
- 給料がよいこと
- その他
- 特にない

Q4. 高齢期に就労する場合に、企業にどのようなことを望みますか。[ひとつだけ]

- 健康や体力に配慮した配置、社内での健康づくりの取組みなどの健康管理
- 経験・知識・能力の適切な評価
- 教育訓練
- 職場に同年代の人がいること
- その他
- 特にない

Q5. 高齢期に就労する場合に、企業にどのようなことを望みますか。[ひとつだけ]

- 現在の業種や職種に関する専門的な知識・技能の習得
- 現在の業種とは異なる業種でも就労できるよう、異なる分野の知識・技術の習得
- シニア起業に向けての必要な準備
- 健康・体力づくり
- いつまでも現役で活躍するための意欲の維持
- 幅広い人脈づくり
- その他
- 特にない
Q6.少子高齢化が進み、労働力が減少する中で、高齢者の就労促進が必要となっていますが、国が取り組むべき施策はどのようものですか。

1. 希望者全員が65歳まで働く仕組みの徹底
2. 企業が65歳以上の老人を雇用するインセンティブ作り
3. ハローワークでの高齢者の就職応募の促進
4. 高齢者の教育訓練
5. シルバー人材センター（※）で紹介できる職種の拡大などシルバー人材センターの機能強化
6. その他
7. 特になく

※シルバー人材センターは、定年退職後、生活を送るため臨時的かつ短期的又は軽易な就業を希望する高齢者に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供する公益的な団体。

Q7.あなたにとって、老後に不安が感じられるものは何ですか。

1. 健康上の問題
2. 経済上の問題
3. 住まい・生活上の問題
4. 家族や地域とのつながりの問題
5. 生きがいの問題
6. 大きな不安はなし
7. その他
8. 特になく

Q8.あなた自身について、何歳から高齢者になると思いますか。

1. 60歳以上
2. 65歳以上
3. 70歳以上
4. 75歳以上
5. 80歳以上
6. 年齢は関係ない

Q9.ご自身の健康寿命（※）を延ばすためにどのようなことが重要だと思いますか。

1. 休養や睡眠を十分にすること
2. バランスのよい食事や家族・仲間と食事を取るための孤食を防ぐこと
3. 適度に運動をすること
4. 家族や友人との交流
5. 健康診断の受診など自己の健康状態の把握
6. 仕事やボランティアなどにより社会で役割を持とうこと
7. 自分のことを自分ですること
8. 健康診断の受診を受けること
9. 自分のことを自分ですること
10. 特になく

※「健康寿命」とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のこと

Q10.高齢者の健康づくり・介護予防を促す取組みとして、どのような施策があるとよいと思いますか。

1. 効果的な広報（健康に関する正しい知識の普及、健康づくりの取り組みの周知等）
2. 健康活動に対するポイント制などのインセンティブ作り
3. 健康診断の受診を受けること
4. 介護予防のためのポリシーやインセンティブ作り
5. 健康相談窓口の設置
6. 高齢者が一緒に食事を取ること
7. 介護予防のためのポリシーやインセンティブ作り
8. 特になく

□ □ □
Q11. 年を取って生活したいと思う場所はどこですか。【ひとつだけ】

□ 自宅（これまで住み続けた自宅、子どもの家への転居を含む）
□ 新しい状況に合わせて移り住んだ老齢者のための住宅（バリアフリー対応住宅や、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど）
□ グループホームのような老齢者の共通生活を営む住居
□ 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設
□ 病院などの医療機関
□ その他
□ わからない

Q12. 高齢期に希望する場所で暮らすために必要なことは何ですか。【3つまで】

□ 家族による手助けがあること
□ 介護保険のサービスが利用できること
□ 介護保険以外のサービス・支援が利用できること
□ 医療機関が近くにあること
□ 公園・緑地などの憩いの場があること
□ 地域の人から気軽に相談できる施設があること
□ 近所での助け合いや協力があること
□ 買い物をする店が近くにあること
□ その他
□ 特にない

Q13. 自分の介護が必要になった場合にどこでどのような介護を受けたいですか。【ひとつだけ】

□ 自宅で家族を中心に介護を受けたい
□ 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
□ 家族に依存せず生活ができるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい
□ 有料老人ホームやケア付き高齢者住宅に住み替えで介護を受けたい
□ 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい
□ 医療機関に入院して介護を受けたい
□ その他

Q14. 高齢者の単身世帯が増えていますが、老後に一人暮らしをすることになった場合に不安はありますか。【ひとつだけ】

□ 大いに不安
□ やや不安
□ あまり不安はない
□ 全く不安はない

Q15. Q14で「大いに不安」「やや不安」回答した方にお伺いします。具体的にどのようなことが不安ですか。【3つまで】

□ 病気になったときのこと
□ 買い物などの日常生活のこと
□ 地域との付き合い
□ 日常会話を大切にすること
□ 災害のとき
□ その他
□ 特にない
Q16. 老後に一人暮らしをする場合に、日常生活で困った時には誰に頼りますか。[2つまで]
□ 子ども・孫
□ きょうだい・親戚
□ 友人
□ 近所の人
□ 地域のボランティア等のサービス
□ 民間のサービス
□ いない

Q17. 老後に一人暮らしをする場合に、どのようなサービスがあるとうれしいですか。[3つまで]
□ 通院、買い物等の外出の手伝い
□ 洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援
□ 配食サービスの支援
□ ごみ出しや電球の交換などちょっとした力仕事
□ 健康管理の支援
□ 見守り・安全確認
□ 心事の相談
□ 日常会話の相手
□ 急病などの緊急時の手助け
□ 計画的に自由な居場所づくり
□ その他
□ 特にならない

Q18. 老後に一人暮らしをする場合、住みたい住居の立地条件として、どのようなことを重視しますか。[3つまで]
□ 子ども・孫の家の近くであること
□ 親戚の家の近くであること
□ 友人・知人の家の近くであること
□ 現在の住居の近く又は現在の住居地であること
□ 地域の助け合いや協力があること
□ 病院・診療所の近くであること
□ 在宅医療・在宅介護の充実している地域であること
□ 買い物がしやすいこと
□ 公共交通機関が整備されており交通の便がいいこと
□ 仕事に就きやすいこと
□ 趣味や生涯学習などの環境が整っていること
□ 自然環境が良いこと
□ その他
□ 特にならない

Q19. 現在お住まいの地域に高齢期になっても住み続けたいと思いますか。[ひとつだけ]
□ 思う
□ どちらかというと思う
□ どちらかというと思わない
□ 思わない
□ わからない

Q20. Q19で「思う」・「どちらかというと思う」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。[3つまで]
□ 住み慣れているから
□ 家族、友人など頼れる人が近くにあるから
□ 医療・介護が充実しているから
□ 交通の便がよく買い物などをしやすいから
□ 自然に恵まれているから
□ 地域での交流がかなから
□ 高齢者が働ける場所が多いから
□ その他
Q21. Q19で「どちらかというと思わない・思わない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。[3つまで]

1. 住み慣れていないから
2. 家族、友人など頼れる人が近くにいないから
3. 医療・介護サービスに不安があるから
4. 交通の便が悪い買い物などが不便だから
5. 自然に恵まれていないから
6. 地域での交流が乏しいから
7. 高齢者が繋げる場所が少ないから
8. その他

Q22. 高齢者が地域で安心して暮らしがいけるようにするために行政にどのような取組みを求めますか。[3つまで]

1. 介護等の福祉サービスの充実
2. 医療体制の充実
3. 公共交通等の充実
4. 雇用の場の確保
5. 災害等に対する体制の充実
6. 趣味や活動の場の提供
7. 地域内の交流の促進
8. 買い物やごみ出しなどの生活支援
9. その他

Q23. あなたのお住まいの地域では支え合いが展開されていると思いますか。[ひとつだけ]

1. 思う
2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない
4. 思わない
5. わからない

Q24. 地域で困っている人がいたらあなたは、助けようと思いますか。[ひとつだけ]

1. 積極的に助けようと思う
2. 助けようと思う
3. あまり助けようと思わない
4. 助けようと思わない
5. わからない

Q25. Q24で「あまり助けようと思わない・助けしようと思わない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。[2つまで]

1. 仕事や家事などで忙しい時間がないから
2. ふだん付き合いが無いから
3. 地域の人とは口数をこさけないから
4. 気の合う人、話の合う人が近くないから
5. あまり関わりたくもないから
6. その他
あなたが実施したい地域での支え合い活動は何ですか。[3つまで]

1. 通院、買い物等の外出の手伝い
2. 洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援
3. ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事
4. 健康管理の支援
5. 見守り・安否確認
6. 日常会話の相手
7. 急病などの緊急時の手助け
8. 悩み事の相談
9. 日常会話の相手
10. 気軽に行ける自由な居場所づくり
11. その他
12. 特に手助けをしようと思わない
13. わからない

地域の支え合いの機能向上させるためにどのような施策が有効だと思いますか。[2つまで]

1. 要援護者の支援マップづくり
2. 住宅ボランティアのコーディネーターの養成
3. 多世代が交流できる場所の整備など支え合いを行う場の提供
4. ポイント制などのももく力仕事の支援
5. その他
6. 特にない

※ボランティアをしたい人とボランティアを利用したい人のマッチング等を行うもの

ダブルケアの問題（※）はあなたにとって身近な問題だと思いますか。[ひとつだけ]

1. 思う
2. どちらかと思う
3. どちらかと思うわない
4. 思わない
5. わからない

ダブルケアをしている人へのような支援が必要だと思いますか。[2つまで]

1. 介護も育児も合わせて相談できる行政窓口
2. 多世代が交流できる場所の整備など支え合いを行う場の提供
3. ポイント制などのももく力仕事の支援
4. その他

介護も育児も合わせて支援サービスが提供される場所を地域でつくる

現在の世帯状況を教えてください。[ひとつだけ]

1. 一人暮らしの世帯
2. あなたと配偶者（パートナー）からなる世帯（夫婦のみ）
3. あなた（配偶者）と子ともなる世帯（二世代同居）
4. あなた（配偶者）と子ともなる世帯（二世代同居）
5. あなた（配偶者）とあなたまたは配偶者の親からなる世帯（二世代同居）
6. あたまたは親の親、あなた（配偶者）と子どもからなる世帯（三世代同居）
7. あなた（配偶者）と子ども（子どもの配偶者）、あなたの孫からなる世帯（三世代同居）
8. その他
あなたの世帯の方全員の昨年1年間の年収（税込）についてあてはまるものをお選びください。

| 1 | 0~200万円未満 |
| 2 | 200~400万円未満 |
| 3 | 400~600万円未満 |
| 4 | 600~800万円未満 |
| 5 | 800~1,000万円未満 |
| 6 | 1,000~1,200万円未満 |
| 7 | 1,200~1,500万円未満 |
| 8 | 1,500万円以上 |

あなたの最終学歴について教えてください。

| 1 | 小学校・中学校 |
| 2 | 高校・旧制中 |
| 3 | 短大・高専・専門学校 |
| 4 | 大学 |
| 5 | 大学院 |
2. 単純集計表

SC1 性別

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>1,410</td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>53.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

SC2 年代（10歳刻み）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>40〜49歳</th>
<th>50〜59歳</th>
<th>60〜69歳</th>
<th>70〜79歳</th>
<th>80歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>1,410</td>
<td>1,590</td>
<td>81</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>47.0</td>
<td>53.0</td>
<td>2.7</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

SC3 居住地：都道府県別

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>北海道</th>
<th>東北</th>
<th>関東</th>
<th>中部</th>
<th>関西</th>
<th>中国</th>
<th>四国</th>
<th>九州・沖縄</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>134</td>
<td>229</td>
<td>968</td>
<td>509</td>
<td>531</td>
<td>184</td>
<td>346</td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>4.5</td>
<td>7.6</td>
<td>32.3</td>
<td>17.0</td>
<td>17.7</td>
<td>6.1</td>
<td>11.5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

SC4 都市区分

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>政令指定都市</th>
<th>人口30万人以上</th>
<th>人口10万人未満</th>
<th>万人未満</th>
<th>10万人未満の市</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>1320</td>
<td>993</td>
<td>542</td>
<td>789</td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>44.0</td>
<td>33.1</td>
<td>18.1</td>
<td>26.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

SC5 就業状態

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>現在働いている</th>
<th>で現在働きたい</th>
<th>後現在働きたくない</th>
<th>今後現在働きたくない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>1,320</td>
<td>342</td>
<td>1,338</td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>44.0</td>
<td>11.4</td>
<td>44.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q5

#### 5-1 働き方の形（現状対労働者のベース）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>小規模・中小規模</th>
<th>高等・専門学校</th>
<th>短期・高等</th>
<th>大学</th>
<th>大学院</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

#### 5-2 就労形態

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>小規模・中小規模</th>
<th>高等・専門学校</th>
<th>短期・高等</th>
<th>大学</th>
<th>大学院</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q5

#### 5-3 就労形態

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>小規模・中小規模</th>
<th>高等・専門学校</th>
<th>短期・高等</th>
<th>大学</th>
<th>大学院</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q5

#### 5-4 就労形態

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>小規模・中小規模</th>
<th>高等・専門学校</th>
<th>短期・高等</th>
<th>大学</th>
<th>大学院</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q5

#### 5-5 就労形態

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>小規模・中小規模</th>
<th>高等・専門学校</th>
<th>短期・高等</th>
<th>大学</th>
<th>大学院</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
<td>回答数</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>Q2 高齢期の就労希望理由（回答は2つまで）（現就労者または就労希望者ベース）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>-----------------------------------------</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>迎える生活、健康的生活、自らの身体を保つ事情、社会参加のため</td>
<td>その他</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000 1,056 793 120 257 3 771</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100 22.0 12.6 8.4 51.4 36.1 10.8 0.1 27.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Q3 高齢期の仕事運びにおける重視点（回答は3つまで）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>------------------------------------------</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>自分の能力を発揮できる仕事であること</td>
<td>勤務時間</td>
<td>給料</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>1,662 1,132 386 644 213 8 1084 324 4 810</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100 35.2 26.4 4.0 8.6 0.1 25.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Q4 高齢期の就労に向けた取組み（回答は3つまで）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>------------------------------------------</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>新しい知識・技術の習得</td>
<td>体の健康</td>
<td>體験</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>64 64</td>
<td>64</td>
<td>64</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100 100 100 100</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Q5 高齢期の就労における企業への要望</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>------------------------------------------</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>体の健康や体力</td>
<td>順の経歴</td>
<td>職種</td>
<td>年代</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>64</td>
<td>64</td>
<td>64</td>
<td>64</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100 100 100 100</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Q6 高齢期の就労促進において国に期待する施策（回答は3つまで）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>------------------------------------------</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>給料の向上</td>
<td>高齢者の教育・職業進路支援</td>
<td>給料の向上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>64</td>
<td>64</td>
<td>64</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100 100 100</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q7 老後の不安（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>健康上上の問題</th>
<th>経済上の問題</th>
<th>住まい・生活上の問題</th>
<th>里親の問題</th>
<th>里親や地域とのつながり</th>
<th>生きがいの問題</th>
<th>その他の</th>
<th>大きな不安はない</th>
<th>わからない</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>2,207</td>
<td>1,827</td>
<td>529</td>
<td>323</td>
<td>693</td>
<td>264</td>
<td>4</td>
<td>122</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q8 「高齢者」の年齢定義

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>60歳以上</th>
<th>65歳以上</th>
<th>70歳以上</th>
<th>75歳以上</th>
<th>80歳以上</th>
<th>年齢は関係ない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q9 健康寿命を延ばすために重要なこと（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>むくこと</th>
<th>防ぐこと</th>
<th>家族や友人との交流</th>
<th>交じること</th>
<th>自分</th>
<th>その他の</th>
<th>特にしない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q10 高齢者の健康づくり・介護予防に関して期待する施策（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>里親の問題</th>
<th>里親や地域とのつながり</th>
<th>生きがいの問題</th>
<th>その他の</th>
<th>大きな不安はない</th>
<th>わからない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q11 高齢期に居住したい場所

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>特別養護老人ホームなどの医療機関</th>
<th>里親の問題</th>
<th>里親や地域とのつながり</th>
<th>生きがいの問題</th>
<th>その他の</th>
<th>大きな不安はない</th>
<th>わからない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q12 高齢期に居住した居場所の条件（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>交通（近所での助け合いや協力がある）</th>
<th>交通（近所での助け合いや協力がある）</th>
<th>近所での助け合いや協力がある</th>
<th>交通の便がよいこと</th>
<th>交通の便がよいこと</th>
<th>地域の利用や介護のサービスなど</th>
<th>地域の利用や介護のサービスなど</th>
<th>公共・地域の場があること</th>
<th>公共・地域の場があること</th>
<th>医療機関が近いこと</th>
<th>医療機関が近いこと</th>
<th>公用・生活機能施設や地域の活動の場が近いこと</th>
<th>公用・生活機能施設や地域の活動の場が近いこと</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q13 自己が望む介護の姿

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>自宅で介護を受ける家族や親に介護を受ける</th>
<th>自宅で介護を受ける家族や親に介護を受ける</th>
<th>特別介護施設入居して介護を受ける</th>
<th>特別介護施設入居して介護を受ける</th>
<th>介護を受ける住宅やところ</th>
<th>介護を受ける住宅やところ</th>
<th>介護が必要なとき</th>
<th>介護が必要なとき</th>
<th>介護が必要なとき</th>
<th>介護が必要なとき</th>
<th>介護が必要なとき</th>
<th>介護が必要なとき</th>
<th>介護が必要なとき</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q14 高齢期の一人暮らしに関する不安度

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>大に不安</th>
<th>やや不安</th>
<th>全く不安ではない</th>
<th>全く不安ではない</th>
<th>不安</th>
<th>不安</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q15 高齢期の一人暮らしに不安を感じる理由（回答は3つまで）
（高齢期の一人暮らしが不安な方ケース）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>健康の変化</th>
<th>日常生活の変化</th>
<th>地域との宮合</th>
<th>会話の相手がいないこと</th>
<th>災害のとき</th>
<th>災害のとき</th>
<th>その他の原因</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q16 高齢期の一人数しにおいて懐きたい相手（回答は2つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>全体</th>
<th>子ども・孫</th>
<th>きょうだい・親戚</th>
<th>友人</th>
<th>近所の人</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q17 高齢期の一人暮らしに関して期待するサービス（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q18 高齢期の一人暮らしで住みたい住居の立地条件（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q19 現居住地の継続意向

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q20 現居住地に住み続けたい理由（回答は3つまで）

（継続意向者ベース）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q21 現居住地に住み続けたくない理由（回答は3つまで）

（非継続意向者ベース）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
<th>の通し、直伝のない身体的・精神的負担</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q22 高齢者が地域で安心して暮らすために期待する行政の取り組み（回答は3つまで）

| 全体 | の充実 | 高齢者の福祉サービスの充実 | 公共交通機の充実 | 雇用の場の確保 | 応急処置等に対する体制の充実 | 地域内の交流の促進 | の買い出しやごみ出しなどの生活物支援 | の介護等の福祉サービスの充実 | その他の
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 3,000 | 2,171 | 1,851 | 915 | 383 | 442 | 422 | 320 | 723 | 22
| % | 100 | 72.4 | 61.7 | 30.5 | 12.8 | 14.7 | 14.1 | 10.7 | 24.1 | 0.7 |

Q23 現在の地域における「支え合い・助け合い」展開状況

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>思う</th>
<th>どちらかというと思う</th>
<th>どちらかと思う</th>
<th>理解しない</th>
<th>理解しない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>98</td>
<td>715</td>
<td>871</td>
<td>531</td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>3.3</td>
<td>23.8</td>
<td>29.0</td>
<td>17.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q24 地域における「支え合い・助け合い」参加意向

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>う「支え合い・助け合い」を思いやろうと思う</th>
<th>あまり助けようとしない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>297</td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>9.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q25 地域の「支え合い・助け合い」に参加したくない理由（回答は2つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>仕事や家事などで忙し</th>
<th>地域の人の知り合い</th>
<th>あげた方が合わない</th>
<th>あまりわからない</th>
<th>あまらないのかな</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>318</td>
<td>57</td>
<td>172</td>
<td>67</td>
<td>52</td>
<td>103</td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>17.9</td>
<td>54.1</td>
<td>21.1</td>
<td>16.4</td>
<td>32.4</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q26 実施したいと思う「支え合い・助け合い」活動（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>の通院、買い出し物等の外出支援</th>
<th>日常生活の相手</th>
<th>助け急病などの緊急時の手助け</th>
<th>その他</th>
<th>思いに手助けをしようと思う</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>3,000</td>
<td>1,059</td>
<td>390</td>
<td>237</td>
<td>860</td>
</tr>
<tr>
<td>%</td>
<td>100</td>
<td>35.3</td>
<td>13.0</td>
<td>7.9</td>
<td>28.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q27 「助け合い・支え合い」機能向上において有効な施策（回答は2つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>体</th>
<th>支援者による支援マップ</th>
<th>介護・子育て支援の混合設計による対応・支援</th>
<th>トータルデザインによるリスク管理等支援</th>
<th>支援マップの具体的実施制策の検討設計等</th>
<th>その他</th>
<th>特にない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q28 「ダブルケア」問題への関心度（身近な問題と感じるか）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>体</th>
<th>思う</th>
<th>どちらかというと思う</th>
<th>思わない</th>
<th>わからない</th>
<th>思わない計</th>
<th>思う計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q29 「ダブルケア」当事者に対して必要と思われる支援（回答は2つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>体</th>
<th>相介護もできる児行を含む方の対応</th>
<th>地域ブラブラ相談バイパス制度または相談者の実施方</th>
<th>布団をとるだけでダブルケアのクマ子当合いケア作成の環境等に直接・八介参観も配信用護考し</th>
<th>つっかけマルゲルケアを当駅事者で介護あり方を介護する場所設施者も含む地がわ場設け</th>
<th>特にない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>回答数</td>
<td>%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### ３．クロス集計表

Q1 就労希望年齢
(現就労者または就労希望者ベース)

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>60歳未満</th>
<th>60歳から64歳</th>
<th>65歳から69歳</th>
<th>70歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>年代</th>
<th></th>
<th>60歳未満</th>
<th>60歳から64歳</th>
<th>65歳から69歳</th>
<th>70歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q2 高齢期の就労希望理由（回答は2つまで）
（現就労者または就労希望者ベース）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>40～49歳</th>
<th>50～59歳</th>
<th>60～69歳</th>
<th>70～79歳</th>
<th>80歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>0〜200万円未満</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>200〜400万円未満</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>400〜600万円未満</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>600〜800万円未満</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>800〜1,000万円未満</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1,000万円以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q3 高齢期の仕事選びにおける重視点（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>66.8</th>
<th>48.3</th>
<th>28.7</th>
<th>34.0</th>
<th>14.5</th>
<th>7.2</th>
<th>2.3</th>
<th>7.2</th>
<th>2.1</th>
<th>7.5</th>
<th>0.3</th>
<th>13.6</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>67.5</td>
<td>47.0</td>
<td>37.0</td>
<td>27.3</td>
<td>17.0</td>
<td>5.0</td>
<td>2.8</td>
<td>8.9</td>
<td>3.0</td>
<td>7.7</td>
<td>0.2</td>
<td>11.4</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>66.1</td>
<td>49.4</td>
<td>21.4</td>
<td>40.0</td>
<td>12.4</td>
<td>9.1</td>
<td>1.8</td>
<td>5.7</td>
<td>1.3</td>
<td>7.4</td>
<td>0.4</td>
<td>15.5</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40～49歳</td>
<td>75.3</td>
<td>56.1</td>
<td>24.2</td>
<td>35.3</td>
<td>11.7</td>
<td>8.8</td>
<td>2.2</td>
<td>6.3</td>
<td>0.9</td>
<td>11.1</td>
<td>4.9</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50～59歳</td>
<td>73.1</td>
<td>55.2</td>
<td>28.0</td>
<td>38.0</td>
<td>11.8</td>
<td>7.4</td>
<td>3.4</td>
<td>5.2</td>
<td>2.1</td>
<td>11.1</td>
<td>5.9</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60～69歳</td>
<td>62.1</td>
<td>46.0</td>
<td>28.7</td>
<td>33.7</td>
<td>14.4</td>
<td>7.1</td>
<td>2.9</td>
<td>6.9</td>
<td>2.9</td>
<td>5.7</td>
<td>0.5</td>
<td>18.1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70～79歳</td>
<td>60.1</td>
<td>38.7</td>
<td>32.9</td>
<td>31.0</td>
<td>19.5</td>
<td>5.8</td>
<td>0.9</td>
<td>10.6</td>
<td>2.7</td>
<td>3.7</td>
<td>0.4</td>
<td>21.6</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>50.6</td>
<td>38.3</td>
<td>34.6</td>
<td>23.5</td>
<td>14.8</td>
<td>4.9</td>
<td>1.2</td>
<td>2.5</td>
<td>1.2</td>
<td>2.5</td>
<td>32.1</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q4 高齢期の就労に向けた取組み（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40～49歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50～59歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60～69歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70～79歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q5 高齢期の就労における企業への要望

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>希望者全員が65歳まで働く仕組みの強化</th>
<th>企業が65歳以上の人を雇用する条件設定</th>
<th>インセンティブ化</th>
<th>70歳までの定年延長</th>
<th>65歳までの労働者の高齢化</th>
<th>メディアの普及</th>
<th>その他</th>
<th>特にならない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>全体</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td>全体</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td>40〜49歳</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q6 高齢期の就労促進において国に期待する施策（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>希望者全員が65歳まで働く仕組みの強化</th>
<th>低年齢者の教育支援</th>
<th>ハイテククリエイティブレベルの職業紹介</th>
<th>働き方改革</th>
<th>介護・サービス業の増加</th>
<th>その他</th>
<th>特にならない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>全体</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td>全体</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td>40〜49歳</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q7 老後の不安（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>健康上の問題</th>
<th>経済上の問題</th>
<th>住まい・生活上の問題</th>
<th>家族や地域とのつながりの問題</th>
<th>生きがいの問題</th>
<th>大きな不安はない</th>
<th>その他</th>
<th>わからない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>S C 1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q8 「高齢者」の年齢定義

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>60歳以上</th>
<th>65歳以上</th>
<th>70歳以上</th>
<th>75歳以上</th>
<th>80歳以上</th>
<th>年齢は関係ない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>S C 1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q9 健康寿命を延ばすために重要なこと（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>体</th>
<th>全体</th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
<th>100.0</th>
<th>甲</th>
<th>乙</th>
<th>丙</th>
<th>丁</th>
<th>100.0</th>
<th>甲</th>
<th>乙</th>
<th>丙</th>
<th>丁</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q10 高齢者の健康づくり・介護予防に関して期待する施策（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>体</th>
<th>全体</th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
<th>100.0</th>
<th>甲</th>
<th>乙</th>
<th>丙</th>
<th>丁</th>
<th>100.0</th>
<th>甲</th>
<th>乙</th>
<th>丙</th>
<th>丁</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

...
### Q11 高齢期に居住したい場所

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
<th>40~49歳</th>
<th>50~59歳</th>
<th>60~69歳</th>
<th>70~79歳</th>
<th>80歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>住所</td>
<td>3,000</td>
<td>1,410</td>
<td>1,590</td>
<td>695</td>
<td>676</td>
<td>757</td>
<td>791</td>
<td>81</td>
</tr>
<tr>
<td>属性</td>
<td>261</td>
<td>102</td>
<td>159</td>
<td>67</td>
<td>63</td>
<td>62</td>
<td>61</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>131</td>
<td>64</td>
<td>67</td>
<td>34</td>
<td>22</td>
<td>34</td>
<td>38</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の施設</td>
<td>74</td>
<td>29</td>
<td>45</td>
<td>12</td>
<td>14</td>
<td>29</td>
<td>29</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>19</td>
<td>13</td>
<td>6</td>
<td>3</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
<td>5</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>336</td>
<td>149</td>
<td>187</td>
<td>106</td>
<td>91</td>
<td>80</td>
<td>57</td>
<td>2</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q12 高齢期に居住した居場所の条件（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
<th>40~49歳</th>
<th>50~59歳</th>
<th>60~69歳</th>
<th>70~79歳</th>
<th>80歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>住所</td>
<td>3,000</td>
<td>1,410</td>
<td>1,590</td>
<td>695</td>
<td>676</td>
<td>757</td>
<td>791</td>
<td>81</td>
</tr>
<tr>
<td>属性</td>
<td>261</td>
<td>102</td>
<td>159</td>
<td>67</td>
<td>63</td>
<td>62</td>
<td>61</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>131</td>
<td>64</td>
<td>67</td>
<td>34</td>
<td>22</td>
<td>34</td>
<td>38</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>74</td>
<td>29</td>
<td>45</td>
<td>12</td>
<td>14</td>
<td>29</td>
<td>29</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>19</td>
<td>13</td>
<td>6</td>
<td>3</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
<td>5</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>336</td>
<td>149</td>
<td>187</td>
<td>106</td>
<td>91</td>
<td>80</td>
<td>57</td>
<td>2</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q13 自身が望む介護の姿

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>ときの介護</th>
<th>在宅介護</th>
<th>産業介護</th>
<th>介護施設</th>
<th>高齢者の入院介護</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>1,410</td>
<td>338</td>
<td>267</td>
<td>437</td>
<td>150</td>
<td>100</td>
<td>94</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>1,590</td>
<td>221</td>
<td>257</td>
<td>684</td>
<td>214</td>
<td>107</td>
<td>87</td>
</tr>
<tr>
<td>年齢</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td>695</td>
<td>136</td>
<td>120</td>
<td>241</td>
<td>84</td>
<td>48</td>
<td>54</td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td>676</td>
<td>125</td>
<td>96</td>
<td>264</td>
<td>78</td>
<td>50</td>
<td>43</td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td>757</td>
<td>131</td>
<td>122</td>
<td>293</td>
<td>104</td>
<td>59</td>
<td>38</td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td>791</td>
<td>138</td>
<td>177</td>
<td>297</td>
<td>89</td>
<td>47</td>
<td>41</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>81</td>
<td>29</td>
<td>9</td>
<td>26</td>
<td>9</td>
<td>3</td>
<td>5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q14 高齢期の一人暮らしに関する不安度

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>大いに不安</th>
<th>やや不安</th>
<th>あまり不安はない</th>
<th>全く不安はない</th>
<th>不安計</th>
<th>不安計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>1,410</td>
<td>587</td>
<td>558</td>
<td>222</td>
<td>43</td>
<td>1,145</td>
<td>265</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>1,590</td>
<td>610</td>
<td>696</td>
<td>254</td>
<td>30</td>
<td>1,306</td>
<td>284</td>
</tr>
<tr>
<td>年齢</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td>695</td>
<td>308</td>
<td>279</td>
<td>81</td>
<td>27</td>
<td>587</td>
<td>108</td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td>676</td>
<td>284</td>
<td>285</td>
<td>92</td>
<td>15</td>
<td>569</td>
<td>107</td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td>757</td>
<td>274</td>
<td>329</td>
<td>140</td>
<td>14</td>
<td>603</td>
<td>154</td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td>791</td>
<td>303</td>
<td>324</td>
<td>148</td>
<td>16</td>
<td>627</td>
<td>164</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>81</td>
<td>28</td>
<td>37</td>
<td>15</td>
<td>1</td>
<td>65</td>
<td>16</td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q15 高齢期の一人暮らしを不安に感じる理由（回答は3つまで）
（高齢期の一人暮らし不安な方ベース）
属性別

<table>
<thead>
<tr>
<th>性別</th>
<th>全体</th>
<th>原因</th>
<th>体調</th>
<th>介護</th>
<th>地域との付き合い</th>
<th>買い物などの日常生活</th>
<th>日常会話をする相手がいない</th>
<th>悩みや心配事を相談する相手がない</th>
<th>災害のとき</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td>SC1</td>
<td>男性</td>
<td>40〜49歳</td>
<td>50〜59歳</td>
<td>60〜69歳</td>
<td>70〜79歳</td>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>性別</td>
<td>SC2</td>
<td>女性</td>
<td>40〜49歳</td>
<td>50〜59歳</td>
<td>60〜69歳</td>
<td>70〜79歳</td>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q16 高齢期の一人暮らしにおいて頼りたい相手（回答は2つまで）
属性別

<table>
<thead>
<tr>
<th>性別</th>
<th>全体</th>
<th>子ども・孫</th>
<th>きょうだい・親戚</th>
<th>友人</th>
<th>近所の人</th>
<th>地域のボランティア</th>
<th>民間のサービス</th>
<th>いない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td>SC1</td>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>性別</td>
<td>SC2</td>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q17 高齢期の一人暮らしに関して期待するサービス

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>属性</td>
<td></td>
<td>65</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>区域</td>
<td></td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>都市</td>
<td></td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>40代</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>50代</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>60代</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>70代</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q18 高齢期の一人暮らしで住みたい住居の立地条件（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>属性</td>
<td></td>
<td>65</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>区域</td>
<td></td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>都市</td>
<td></td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>40代</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>50代</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>60代</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>70代</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>属性別</td>
<td>全体</td>
<td>思う</td>
<td>どちらかと思うと思う</td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------------------</td>
</tr>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>1,410</td>
<td>519</td>
<td>514</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>1,590</td>
<td>592</td>
<td>541</td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td>695</td>
<td>174</td>
<td>230</td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td>676</td>
<td>200</td>
<td>234</td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td>757</td>
<td>319</td>
<td>265</td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td>791</td>
<td>370</td>
<td>300</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>81</td>
<td>48</td>
<td>26</td>
</tr>
<tr>
<td>都市</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>政令指定都市及び東京都区部</td>
<td>993</td>
<td>404</td>
<td>333</td>
</tr>
<tr>
<td>人口30万人以上の市</td>
<td>542</td>
<td>201</td>
<td>212</td>
</tr>
<tr>
<td>人口10万人以上30万人未満の市</td>
<td>789</td>
<td>289</td>
<td>273</td>
</tr>
<tr>
<td>人口10万人未満の市町村</td>
<td>676</td>
<td>217</td>
<td>237</td>
</tr>
<tr>
<td>世帯</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>一人暮らし</td>
<td>456</td>
<td>162</td>
<td>141</td>
</tr>
<tr>
<td>夫婦のみ</td>
<td>1,142</td>
<td>451</td>
<td>410</td>
</tr>
<tr>
<td>夫婦と子ども</td>
<td>882</td>
<td>309</td>
<td>341</td>
</tr>
<tr>
<td>夫婦と親</td>
<td>287</td>
<td>82</td>
<td>96</td>
</tr>
<tr>
<td>三世代同居</td>
<td>196</td>
<td>94</td>
<td>58</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>37</td>
<td>13</td>
<td>9</td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q 20 現居住地に住み続けたい理由（回答は3つまで）
（継続意向者ベース）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>住み慣れているから</th>
<th>人が近いから</th>
<th>人が近いから</th>
<th>交通の便がよくから</th>
<th>交通の便がよくから</th>
<th>介護が充実しているから</th>
<th>自然が恵まれているから</th>
<th>地域での交流がさかんから</th>
<th>多高齢者が働く場所が多いから</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年代</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

政令指定都市及び東京都区部

人口30万人以上の市

人口10万人以上30万人未満の市

人口10万人未満の市町村
Q21 現居住地に住み続けたくない理由（回答は3つまで）
（非継続意向ベース）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>住み慣れていないから</th>
<th>家族、友人など頼れる人が近くにいないから</th>
<th>不安があるから</th>
<th>交通の不便が悪くかつ重い物が運べないから</th>
<th>交通の不便から地域での交流が乏しい</th>
<th>自然に恵まれていないから</th>
<th>地域で働く場所がないから</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>S C 1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>S C 2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70〜79歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>S C 3</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>政令指定都市及び東京都区部</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>人口30万人以上の市</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>人口1万人以上3万人未満の市</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>人口1万人未満の市町村</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q22 高齢者が地域で安心して暮らすために期待する行政の取り組み（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性</th>
<th>介護等の福祉サービス</th>
<th>医療体制の充実</th>
<th>公共交通等の充実</th>
<th>雇用の場の確保</th>
<th>災害等に対する体制の充実</th>
<th>趣味や活動の場の提供</th>
<th>地域内の交流の促進</th>
<th>この生活支援の他</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>72.4</td>
<td>61.7</td>
<td>30.5</td>
<td>12.8</td>
<td>14.7</td>
<td>14.1</td>
<td>10.7</td>
<td>24.1</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>100.0</td>
<td>69.1</td>
<td>61.8</td>
<td>29.8</td>
<td>15.5</td>
<td>13.8</td>
<td>13.8</td>
<td>10.2</td>
<td>19.6</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>100.0</td>
<td>75.2</td>
<td>61.6</td>
<td>31.1</td>
<td>10.3</td>
<td>15.6</td>
<td>14.3</td>
<td>11.1</td>
<td>28.1</td>
</tr>
<tr>
<td>40~49歳</td>
<td>100.0</td>
<td>65.0</td>
<td>57.8</td>
<td>29.6</td>
<td>23.6</td>
<td>9.5</td>
<td>11.5</td>
<td>9.1</td>
<td>17.1</td>
</tr>
<tr>
<td>50~59歳</td>
<td>100.0</td>
<td>69.7</td>
<td>59.9</td>
<td>32.5</td>
<td>19.7</td>
<td>13.9</td>
<td>9.8</td>
<td>7.0</td>
<td>20.9</td>
</tr>
<tr>
<td>60~69歳</td>
<td>100.0</td>
<td>73.8</td>
<td>62.5</td>
<td>28.9</td>
<td>7.3</td>
<td>16.4</td>
<td>16.6</td>
<td>11.2</td>
<td>25.4</td>
</tr>
<tr>
<td>70~79歳</td>
<td>100.0</td>
<td>79.1</td>
<td>64.2</td>
<td>30.8</td>
<td>3.7</td>
<td>18.0</td>
<td>18.1</td>
<td>14.7</td>
<td>31.4</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>100.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q23 現在の地域における「支え合い・助け合い」展開状況

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>性別</th>
<th>時代</th>
<th>都市区分</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>40~49歳</td>
<td>政令指定都市及び東京都区部</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>50~59歳</td>
<td>人口30万人以上の市</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>60~69歳</td>
<td>人口10万人以上30万人未満の市</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>70~79歳</td>
<td>人口10万人未満の市町村</td>
</tr>
</tbody>
</table>

#### 性別

<table>
<thead>
<tr>
<th>全体</th>
<th>思う</th>
<th>どちらかというと思う</th>
<th>どちらかというと思わない</th>
<th>思わない</th>
<th>わからない</th>
<th>思う計</th>
<th>思わない計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

#### 年代

<table>
<thead>
<tr>
<th>40~49歳</th>
<th>50~59歳</th>
<th>60~69歳</th>
<th>70~79歳</th>
<th>80歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

#### 都市区分

<table>
<thead>
<tr>
<th>政令指定都市及び東京都区部</th>
<th>人口30万人以上の市</th>
<th>人口10万人以上30万人未満の市</th>
<th>人口10万人未満の市町村</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### Q24 地域における「支え合い・助け合い」参加意向

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>有望的</th>
<th>助けようと思う</th>
<th>あまり助けようと思わない</th>
<th>助けようと思う思わない</th>
<th>わからない</th>
<th>計助けようと思う思わない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>性別</th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
<th>40〜49歳</th>
<th>50〜59歳</th>
<th>60〜69歳</th>
<th>70〜79歳</th>
<th>80歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>望</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Q25 地域の「支え合い・助け合い」に参加したくない理由（回答は2つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>く仕事や家事のない</th>
<th>ふだん付き合う機会</th>
<th>きっかけのない</th>
<th>人が近くにいない</th>
<th>話が合わない</th>
<th>あまり変わらない</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全体</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>性別</th>
<th>男性</th>
<th>女性</th>
<th>40〜49歳</th>
<th>50〜59歳</th>
<th>60〜69歳</th>
<th>70〜79歳</th>
<th>80歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>望</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q26 実施したいと思う「支え合い・助け合い」活動（回答は3つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>通院、伝い、買い物等の外出</th>
<th>の洗濯・食事の家事支援</th>
<th>配食サービスの支援</th>
<th>健康管理の支援</th>
<th>ごみ出しや帰宅や電球の交換</th>
<th>仕事などのちょっとした手伝い</th>
<th>日常会話の相手</th>
<th>臨床病院などの緊急時の手伝い</th>
<th>思わない</th>
<th>特に手助けをしようと思う</th>
<th>分からない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>3,000</td>
<td>1,059</td>
<td>390</td>
<td>237</td>
<td>860</td>
<td>229</td>
<td>1,117</td>
<td>197</td>
<td>635</td>
<td>730</td>
<td>260</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>35.3</td>
<td>13.0</td>
<td>7.9</td>
<td>28.7</td>
<td>7.6</td>
<td>37.2</td>
<td>6.6</td>
<td>21.2</td>
<td>24.3</td>
<td>8.7</td>
<td>0.2</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>1,410</td>
<td>485</td>
<td>151</td>
<td>102</td>
<td>479</td>
<td>125</td>
<td>540</td>
<td>83</td>
<td>211</td>
<td>328</td>
<td>99</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>34.4</td>
<td>10.7</td>
<td>7.2</td>
<td>34.0</td>
<td>8.9</td>
<td>38.3</td>
<td>5.9</td>
<td>15.0</td>
<td>23.3</td>
<td>7.0</td>
<td>0.2</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>1,590</td>
<td>574</td>
<td>239</td>
<td>135</td>
<td>381</td>
<td>104</td>
<td>577</td>
<td>114</td>
<td>424</td>
<td>402</td>
<td>161</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>36.1</td>
<td>15.0</td>
<td>8.5</td>
<td>24.0</td>
<td>6.5</td>
<td>36.3</td>
<td>7.2</td>
<td>26.7</td>
<td>25.3</td>
<td>10.1</td>
<td>0.1</td>
</tr>
<tr>
<td>40~49歳</td>
<td>695</td>
<td>207</td>
<td>84</td>
<td>58</td>
<td>166</td>
<td>47</td>
<td>187</td>
<td>41</td>
<td>105</td>
<td>99</td>
<td>33</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>29.8</td>
<td>12.1</td>
<td>8.3</td>
<td>23.9</td>
<td>6.8</td>
<td>26.9</td>
<td>5.9</td>
<td>15.1</td>
<td>14.2</td>
<td>4.7</td>
<td>0.3</td>
</tr>
<tr>
<td>50~59歳</td>
<td>676</td>
<td>212</td>
<td>85</td>
<td>50</td>
<td>206</td>
<td>38</td>
<td>226</td>
<td>42</td>
<td>113</td>
<td>160</td>
<td>42</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>31.4</td>
<td>12.6</td>
<td>7.4</td>
<td>30.5</td>
<td>5.6</td>
<td>33.4</td>
<td>6.2</td>
<td>16.7</td>
<td>23.7</td>
<td>6.2</td>
<td>0.1</td>
</tr>
<tr>
<td>60~69歳</td>
<td>757</td>
<td>280</td>
<td>85</td>
<td>53</td>
<td>226</td>
<td>58</td>
<td>318</td>
<td>49</td>
<td>182</td>
<td>183</td>
<td>81</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>37.0</td>
<td>11.2</td>
<td>7.0</td>
<td>29.9</td>
<td>7.7</td>
<td>42.0</td>
<td>6.5</td>
<td>24.0</td>
<td>24.2</td>
<td>10.7</td>
<td>0.1</td>
</tr>
<tr>
<td>70~79歳</td>
<td>791</td>
<td>326</td>
<td>124</td>
<td>68</td>
<td>243</td>
<td>71</td>
<td>358</td>
<td>61</td>
<td>211</td>
<td>263</td>
<td>102</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>41.2</td>
<td>15.7</td>
<td>8.6</td>
<td>30.7</td>
<td>9.0</td>
<td>45.3</td>
<td>7.7</td>
<td>26.7</td>
<td>33.2</td>
<td>12.9</td>
<td>0.1</td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>81</td>
<td>34</td>
<td>12</td>
<td>8</td>
<td>19</td>
<td>15</td>
<td>28</td>
<td>4</td>
<td>24</td>
<td>25</td>
<td>2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>42.0</td>
<td>14.8</td>
<td>9.9</td>
<td>23.5</td>
<td>18.5</td>
<td>34.6</td>
<td>4.9</td>
<td>29.6</td>
<td>30.9</td>
<td>2.5</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q27「助け合い・支え合い」機能向上において有効な施策（回答は2つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>通院、伝い、買い物等の外出</th>
<th>の洗濯・食事の家事支援</th>
<th>配食サービスの支援</th>
<th>健康管理の支援</th>
<th>ごみ出しや帰宅や電球の交換</th>
<th>仕事などのちょっとした手伝い</th>
<th>日常会話の相手</th>
<th>臨床病院などの緊急時の手伝い</th>
<th>思わない</th>
<th>特に手助けをしようと思う</th>
<th>分からない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>3,000</td>
<td>1,212</td>
<td>1,200</td>
<td>952</td>
<td>459</td>
<td>4</td>
<td>658</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>40.4</td>
<td>40.0</td>
<td>31.7</td>
<td>15.3</td>
<td>0.1</td>
<td>21.9</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>1,410</td>
<td>553</td>
<td>566</td>
<td>427</td>
<td>202</td>
<td>2</td>
<td>345</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>39.2</td>
<td>40.1</td>
<td>30.3</td>
<td>14.3</td>
<td>0.1</td>
<td>24.5</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>1,590</td>
<td>659</td>
<td>634</td>
<td>525</td>
<td>257</td>
<td>2</td>
<td>313</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>41.4</td>
<td>39.9</td>
<td>33.0</td>
<td>16.2</td>
<td>0.1</td>
<td>19.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40~49歳</td>
<td>695</td>
<td>220</td>
<td>258</td>
<td>187</td>
<td>103</td>
<td>2</td>
<td>206</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>31.7</td>
<td>37.1</td>
<td>26.9</td>
<td>14.8</td>
<td>0.3</td>
<td>29.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50~59歳</td>
<td>676</td>
<td>257</td>
<td>271</td>
<td>196</td>
<td>102</td>
<td>1</td>
<td>149</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>38.0</td>
<td>40.1</td>
<td>29.0</td>
<td>15.1</td>
<td>0.1</td>
<td>22.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60~69歳</td>
<td>757</td>
<td>313</td>
<td>300</td>
<td>229</td>
<td>119</td>
<td>1</td>
<td>167</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>41.3</td>
<td>39.6</td>
<td>30.3</td>
<td>15.7</td>
<td>0.1</td>
<td>22.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70~79歳</td>
<td>791</td>
<td>379</td>
<td>333</td>
<td>312</td>
<td>123</td>
<td></td>
<td>126</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>47.9</td>
<td>42.1</td>
<td>39.4</td>
<td>15.5</td>
<td></td>
<td>15.9</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td>81</td>
<td>43</td>
<td>38</td>
<td>28</td>
<td>12</td>
<td></td>
<td>10</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>100.0</td>
<td>53.1</td>
<td>46.9</td>
<td>34.6</td>
<td>14.8</td>
<td></td>
<td>12.3</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
Q28 「ダブルケア」問題への関心度（身近な問題と感じるか）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>思う</th>
<th>どちらかというと思う</th>
<th>どちらかと思うと思わない</th>
<th>思わない</th>
<th>わからない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年齢</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40～49歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50～59歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60～69歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70～79歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

Q29 「ダブルケア」当事者に対して必要と思われる支援（回答は2つまで）

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性別</th>
<th>全体</th>
<th>相談</th>
<th>介護</th>
<th>児育</th>
<th>デザ イルケア</th>
<th>当事者</th>
<th>介護</th>
<th>場所</th>
<th>サービス</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>性別</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年齢</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40～49歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>50～59歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>60～69歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>70～79歳</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>80歳以上</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>